

戦気 NO-27

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです!



3月17日 Ultimate Battle Vol.2 川瀬伊達男 TKO負け!

第5試合にスーパーフェザー級で川瀬伊達男が登場した。対戦相手は泉圭衣知選手(18鴻巣ジム、7勝2敗)。

川瀬は2年前に三谷大和ジムに移籍してきた選手である。昨年7月、7年ぶりに後樂園ホールのリングへ復帰し、3ラウンド豪快な右フックで対戦相手が失神担架退場となるKO勝利で再デビューした。現在、8勝(5KO)6敗1分の戦績。それから8ヶ月ぶりに後樂園ホールへの登場である。

1ラウンドからハードパンチャー同士が意地を賭けて打合い、お互い気負い過ぎて大振りのパンチが多く正確さを欠く。

2、3ラウンドも同様だが、お互いジャブ、ストレートを殆ど打たず、どつきあいである。川瀬の右ボディアッパー、右フックをもるに受けた泉選手の後退が目立つ。

4ラウンドは逆に川瀬がだいぶ顔面にパンチを受ける。インターバルにレフェリーが川瀬の様子を見に出向く。

5ラウンドもお互いが渾身の力を込めてパンチを繰り出す。中盤で川瀬がアッパーに続いて連打を浴びる中でレフェリーが1分32秒で泉選手のTKO勝利宣言を出した。

川瀬選手のコメント

体調は十分だった。練習もした。初回から相手を打ち倒すつもりで戦ったが、思ったより相手のガードが堅かった。負けてしまっています。次はやってやる。今日はゆっくり休みます。

三谷会長のコメント

川瀬の出来は100点だった。

5回は川瀬のボディで相手が弱っているのが判っていたが逆に相手のアッパーを貰っちゃった。川瀬はいい形で戦っていたので僕としても悔しい。川瀬は練習もよくするし思った以上の出来で川瀬を褒めたいと思う。川瀬はまだ壊れていないし進化している。真面目なので今回のように練習すれば取り戻せるよ。

大橋の対戦相手のパンチは強かった。大橋のダメージを考慮して試合を止めました。

宮内もよくやったけれど、1ラウンドのダウンを挽回するため、2ラウンドからは顔を狙うのではなくボディを狙うよう指示したが、後半から上を狙いだしカウンターをもらっちゃったね。負けた理由は自分でも判っているだろうからこれからはがんばって欲しいね。



ごんごちゃんを見た!!

3月3日の桃の節句生まれの「ラウンドガール あーちゃん」は満2歳になりました。後樂園ホールで三谷大和スポーツジム選手が出場する試合には、お母さんと一緒にリングサイドで応援します。今年は三谷ジムから5人の日本ランカーを生み出すことがジムの方針として掲げられていますので、あーちゃんも応援に熱が入ります。先月はタイ合宿にお兄ちゃんたちと一緒に出かけました。タイは暑くてアイスがとても美味しかったのですがお腹をこわしてしまいました。でも、今はすっかり回復して元気にお兄ちゃんたちを応援しています。



後樂園ホール(3月17日)



第4ラウンド

第66回 東日本新人王トーナメント戦

3月30日から始まった東日本新人王トーナメント戦には三谷大和スポーツジムから5選手が出場します。

大橋 実 4R TKO負け(3/31)



第3試合にスーパーバンタム級で大橋実が登場。対戦相手は大橋健典選手(角海老宝石ジム:1勝1KO)

リング上がった大橋は硬くなっているように見えた。1ラウンドから頭を下げて前進する大橋に対してレフェリーは再三注意を出す。終了間際に相手選手の左フックをもらい大橋ダウン。2ラウンドにはバツティングで減点1を宣告され厳しい状況だ。

3ラウンドは奮起し持ち直したが、4ラウンドは対戦相手に距離を制御され顔面への左右フック、ボディ連打を浴びている中で2分10秒に三谷会長からタオルが投入された。

宮内義弘 2R TKO負け(3/31)



第11試合にスーパーフェザー級で宮内義弘が登場。対戦相手は佐藤陽亮選手(勝又ジム:1勝1KO3敗)

1ラウンドは宮内のストレートも伸び両者果敢に打ち合うが、終了間際に右フックをもらい宮内ダウン。2ラウンド、宮内はダブルガードで出て行くが顎を引かずに打ち合う癖が出て佐藤選手の右ショートストレートをもるに顔面に受け1分42秒で

担架退場となった。

スケジュール

- 4月16日 佐藤ヒロト(東日本新人王戦)
- 4月27日 斉藤 司
- 4月29日 三谷大和スポーツジム スパリング大会
- 5月14日 小橋康晃(東日本新人王戦)

編集後記 3月31日、後樂園ホールで戦われた『第67回 東日本新人王予戦』1回戦に三谷大和ジムから2選手が登場した。結果は2連敗。今年は3ヶ月を過ぎた時点でジムの戦績は8戦2勝6敗。例年に比べ勝敗数が逆であり、勝つ流れにいまひとつ乗れない状況だ。4月からは流れを変えなければいけない。選手諸君、がんばり!!